



庄瀬小学校

清掃でタテ社会を育てる



校庭のゴミ拾いもみんなで

班長からは、時々厳しい注意も……

庄瀬小学校（唐沢浅治校長・二百四十二人）では、全校児童が協力し合い、木造校舎をピカピカにみがけています。同校は、二年前から「ゆとり学習」の一つとして、タテ割り清掃を取り入れ、校舎を大切にすること、勤労意欲を持たせる教育に取り組んでいます。

それに前田 彪先生は「今の子供たちはヨコのつながりが主です。この清掃では上・中・下級生が交わるタテの班をつくり、社会性を育てることもめざしているんですよ」と、今一つのねらいを話しています。

六年生三十六人をそれぞれリーダーに、三十六班を編成し、班ごとに清掃区域を分担させています。これらの効果は思ったよりで、六年生に自覚と責任感が芽ばえ、下級生も上級生を慕うといったことが、普段の学校生活にハッキリと表われてきたそうです。

「学習の目的は、本当に良く達成されています。そればかりか、家庭でも進んでいるんな手伝をする子供が増えています」と石沢千代美先生。勤労することに意欲を示し、全く違うメンバーとの交流で、新しい世界を発見する子供たち。どうやらタテ割り清掃はすっかり、子供たちの中に根づいたようです。

学校めぐり



下級生に掃除のやり方を教えるのも上級生の役割り

体験学習を増やしてやりたい

唐沢浅治校長

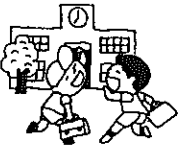
素直でいい子が多いんですが、少し積極性に欠けるくらいがあります。このため、頭を使い、手足を動かして、実践する子供を育てることを目標に、スポーツ活動を奨励しています。

また、先人たちが信濃川のはん乱と戦ってきたことや、今のおじいちゃん、おばあちゃんの子供時代は白根の子供たちと何事も競い

合ってきたことなど、これまでの人々が、がんばってこられた話を時々聞かせています。

これからはもっともっと地域性にあった、体験学習の機会を増やしてやりたいですね。たとえば、米どころにいなながら「米は買ってくるもの」と、思いこんでいる子が多いんです。これでは困るんですよ。今、実習田を探しているんです。地区の人で、提供して下さる人があれば、ありがたいです。

学校自慢



5年生 小林茂久くん



校長先生をはじめ先生方に、何んでも気軽に話せる雰囲気大好きです。きっと、いい先生ばかりなんですね。

5年生 羽入寿美子さん



校長先生がよく下級生と遊んでくれています。そんなところを見ると、下級生をかわいがらなくてはいけないと思います。

4年生 小林貴樹くん



サッカーが強いことと家庭的な学校です。ねえちゃんのクラスの人たちからは、いつもかわいがってもらっています。

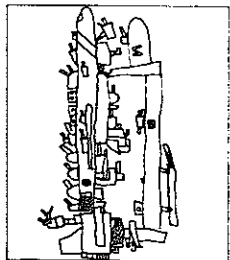
4年生 吉田千春さん



1年生から6年生までが協力し合うことかな。とくに清掃をいっしょにするようになり、上級生と仲良くなりました。



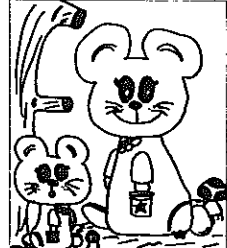
1年1組 藤井由香里さん



1年2組 遠山 勝くん



2年生 桜井 直くん



3年生 吉沢広美さん 金内 悠さん

